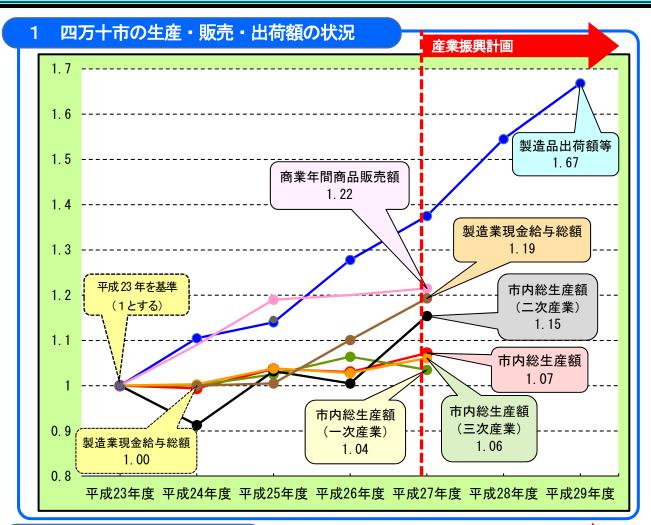
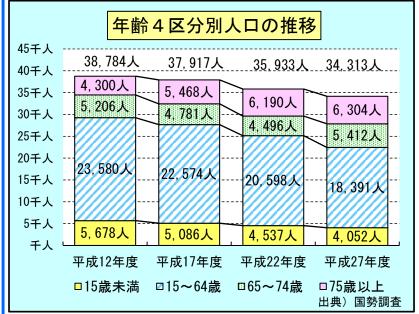
1 四万十市の産業状況等① 資料 1



3 就業人口の推移等



◎製造業の事業所数・従業員数(工業統計調査 ※1)

平成26年 平成29年

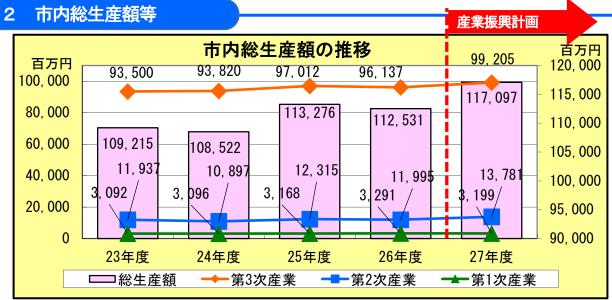
事業所 37 ⇒ 事業所 53 +16事業所

従業員 574人 ⇒ 従業員 801人 +227人

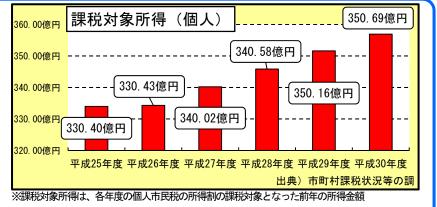
◎卸売・小売業の事業所数・従業員数(経済が水活動、商業統計調査)平成26年平成28年

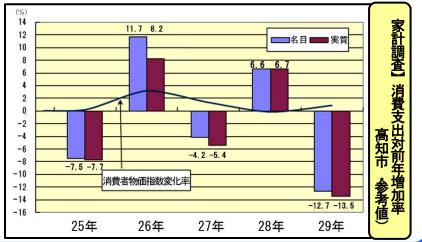
事業所 544 ⇒ 事業所 552 **+8事業所** 従業員 2,950人 ⇒ 従業員 2,941人 ▲9人

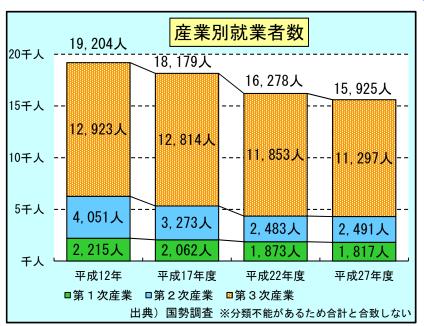
※1:従業員4名以上の事業者が対象

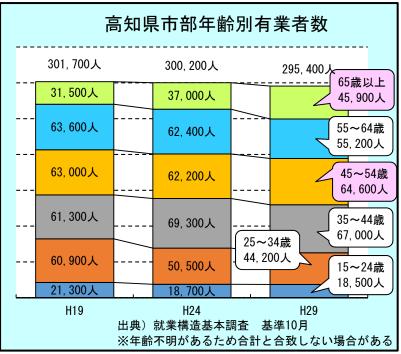


	平成26年度	平成27年度
県内総生産額	2兆3,299億円(+1.4%)	2兆3,997億円(+3.0%)
総生産額が1,000 億円を超える市町 村	高知市 1 兆1,523億円(+1.8%) (※県内総生産の49.6%) 南国市 1,897億円(△0.4%) 四万十市 1,125億円(△0.7%)	①高知市 1 兆1,837億円(+2.7%) (※県内総生産の49.4%) ②南国市 2,027億円(+6.8%) ③四万十市 1,171億円(+4.1%)







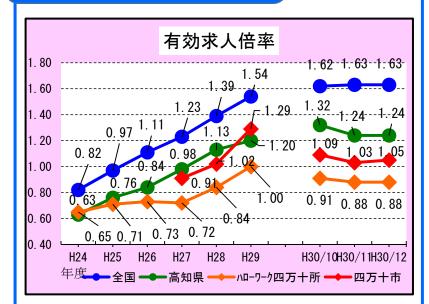


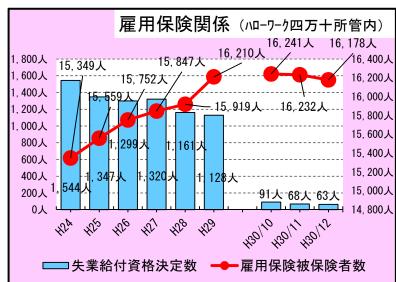
四万十市	平成22年	平成27年	増減
就業者数	16, 278人	15, 925人	97. 8%
就業者数 (男)	8, 700人	8, 430人	96. 9%
就業者数 (女)	7, 578人	7, 495人	98. 9%
雇用者数 (正規の職員・従業員)	8, 117人	7, 880人	97. 1%
雇用者数 (労働者派遣事業所の派遣社員)	87人	161人	185. 1%
雇用者数 (パート・アルバイト・その他)	3, 396人	3, 309人	97. 4%

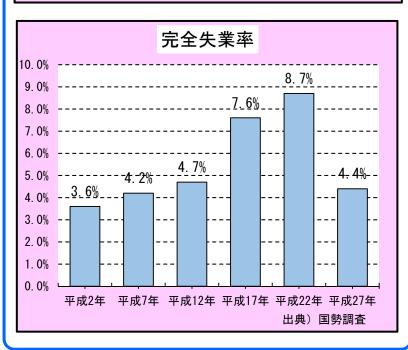
出典)国勢調査

四万十市の産業状況等②

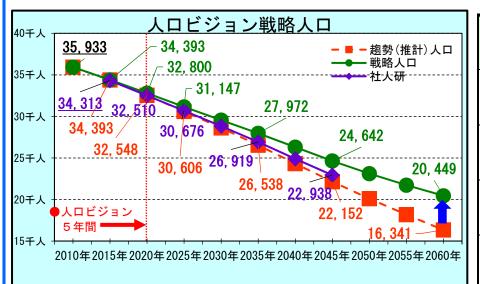
有効求人倍率等

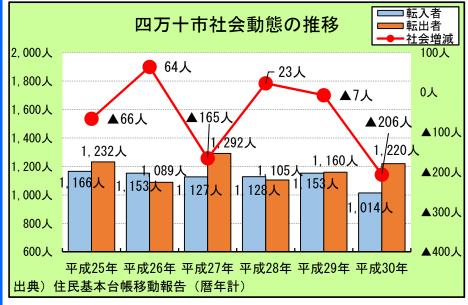


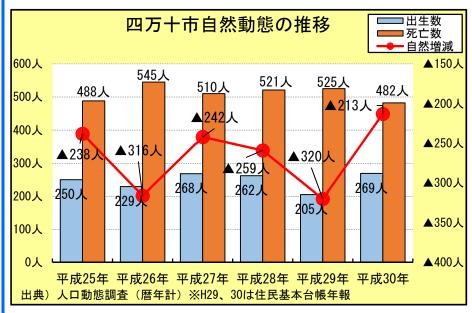




人口の推移等



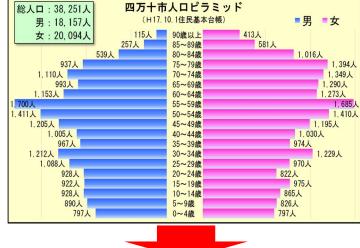


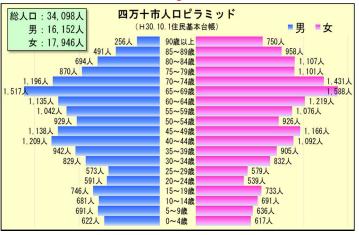


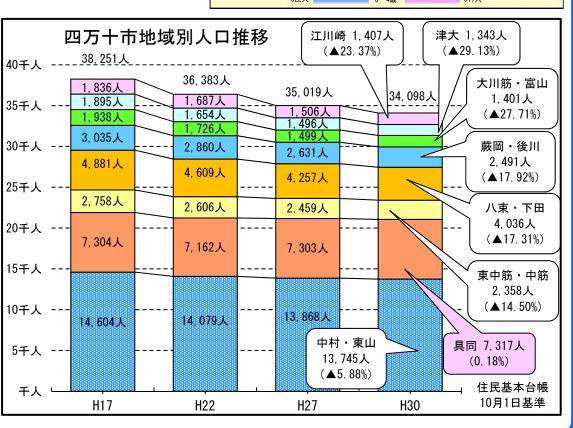
	移住 相談数	移住 世帯数
H25	66件	10件 (17人)
H26	107件	6件 (10人)
H27	139件	25件 (54人)
H28	192件	31件 (47人)
H29	205件	29件 (54人)
H30 見込	200件	30件 (45人)

shimanto

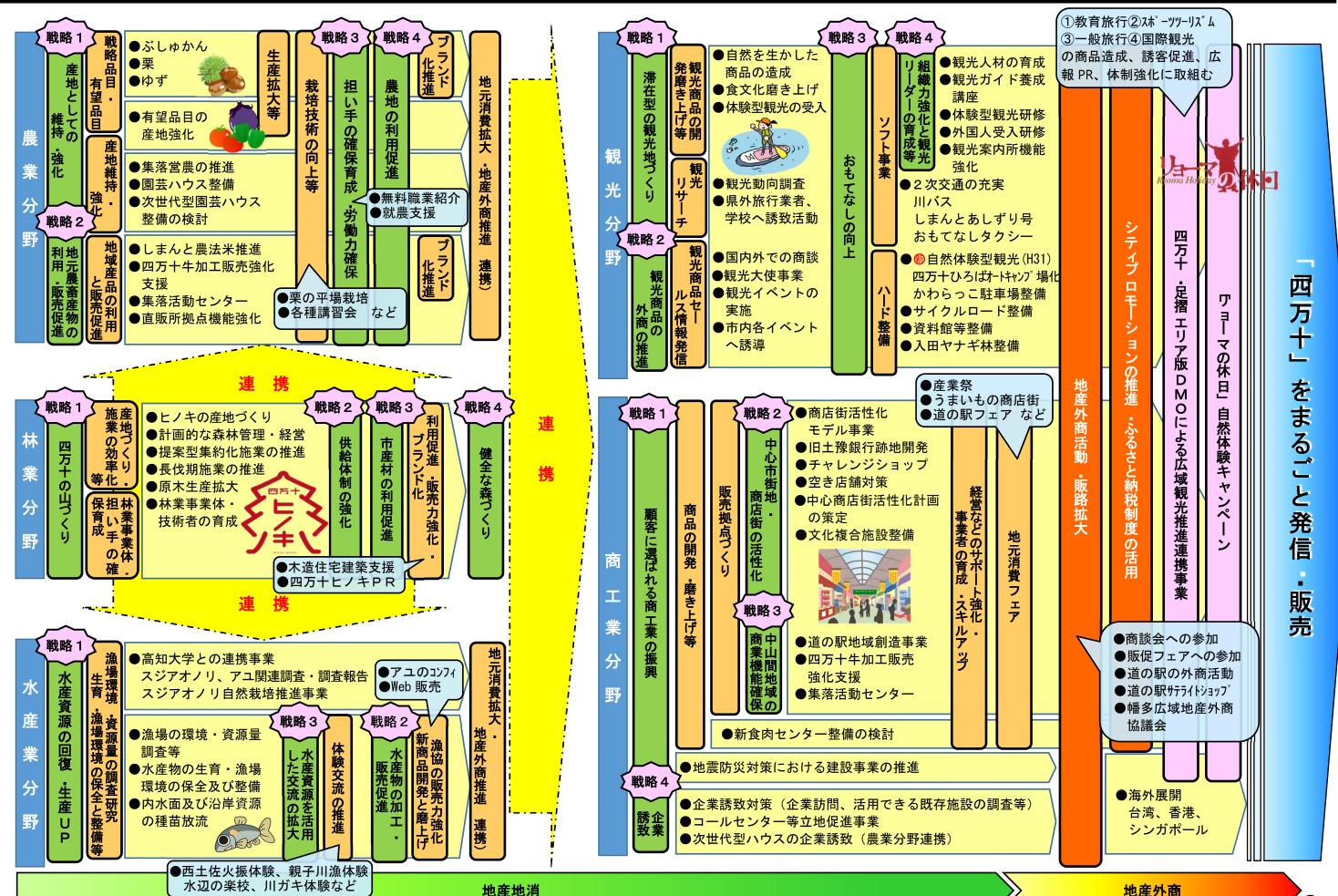








3 アクションプランの動き(主なもの)



4 平成30年度の各産業分野の動き①(主なもの)

2 資源管理 [P. 28]

3 体験教室等【P. 29】

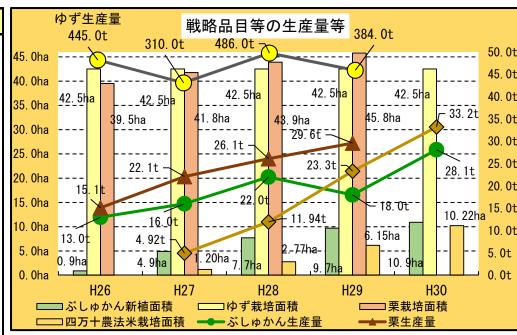
・てながえび類の禁漁(9月~3月)、禁漁期間の周知

・川漁体験、四万十川ガキ、水辺の楽校、親子川漁、放流体験など

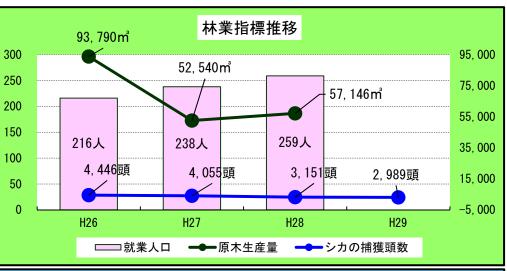
分野 平成 31 年度 平成 30 年度 1 ぶしゅかん普及促進【P. 3、4、11、12】 圏ぶしゅかん産地化推進事業 【地方創生】 集出荷場整備(選果台、HACCP対応など)、PR活動、生産者支援など ・新規定植、獣害対策、ブランド化など (四万十ぶしゅかん㈱)、四万十ぶしゅかん生産者組合) • • • 裁培指導等業務委託 ・新植面積 H29∶9. 7ha⇒H30∶10. 9ha H31 日標 12ha 圏栗暮プロジェクト【地方創生】 生 産 量 H29:18t ⇒H30:28.1t (市内) H31 目標 54t ・モデル園、縮間伐指導、平場栽培など 2 栗の振興【P.4、13、】 圝農産物ブランド化【地方創生】 ・四万十栗生産加工販売促進再生事業(しまんと美野里) ・販促活動、 はしまんと農法米試験栽培 縮間伐、集荷、新植など 圝中山間農業複合経営拠点整備事業 ・栗暮プロジェクト (農業公社等)、集荷 (JA 高知県) •中村地域:ポットファームシステム整備等 - 栽培面積 H28:43.9ha⇒H29:45.8ha H31 目標 47ha 西土佐地域:移動式雨よけハウス整備等 生 産 量 H28:26.1t ⇒H29:29.6t H31 目標 60t 圏新食肉センター整備 3 農産物ブランド化(しまんと農法米、40010 日プロジェクト)【P. 1、4】 用地測量など - 農法米栽培面積 H29:6. 15ha⇒H30:10. 22ha H31 目標 20ha 生産量 H29:23.6t ⇒H30:33.2t H31 目標 88.4 t 4 就農支援体制の拡充【P. 18】 中山間農業複合経営拠点整備事業 中村地域:ポットファームシステム整備等 西土佐地域:播種機整備 農林水産等直販所 5 その他 販売額 ・有望品目産地化 (レンタルハウス等の施設整備など) 11億5,600万円(H25) ・環境保全型農業の推進(環境保全型、有機農業等支援など) →13 億 300 万円 (H28) ・担い手育成(新規就農、認定農業者、集落営農支援など) ・農地利用、耕作放棄地対策(農地中間管理事業、基盤整備、直接支払・多面 的事業など) 1 提案型集約化施業の推進【P. 21、22】 圝提案型集約化施業の推進 ・森林経営計画作成、森の工場の促進 脳担い手確保・育成 2 担い手確保・育成【P. 24】 ・緑の雇用、森林環境税関連の人材育成など - 緑の雇用事業活用(H30緑の雇用新規4名) 動新たな森林経営管理システム関連事業 3 四万十ヒノキのブランド化【P. 2、5】 森林所有者の意向調査準備 林業分野 ・四万十ヒノキブランド化協議会との連携 ・人材育成 など ・四万十ヒノキの家見学 宿泊者延 261 名 圏健全な森づくり 森林をまとめて、集約化することで ・獣害防護ネット設置、有害鳥獣捕獲支援など 見学 240 名 (1月末) ・高知もくもくランド、幡多山もりフェスでPR 木材・木製品製造品出荷額等 4 健全な森づくり【P.26】 7億5,000万円(H24) 獣害防護柵設置支援、有害鳥獣捕獲支援、新規狩猟者の確保 ⇒8億5,542万円 (H27) 5 体験事業 【P. 5】 間伐体験(協働の森づくり) 1 水産資源の回復等【P. 27、28】 ●アユのブランド化の推進 • 高知大学連携事業 四万十川漁業振興協議会において協議 スジアオノリ関連調査事業(四万十市・高知大学連携事業推進会議) 圏環境調査等:栽培環境調査、アユ調査など スジアオノリ自然栽培事業(四万十川下流漁協): 養殖網延 780 枚設置 **圝種苗放流:アユ、ツガニ、うなぎ、アメゴ** ・環境調査等:栽培環境(水温・塩分)、アユ冷水病、アユ仔魚調査 圝体験教室等 漁場整備:アユ、イセエビなど 種苗放流:アユ、ツガニ、うなぎ、アメゴ、ヒラメ 内水面漁業漁獲量

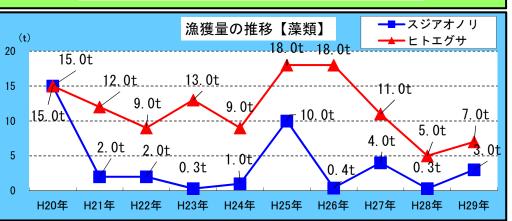
56.0 t (H24)

⇒37.3 t (H28)









5 平成30年度の各産業分野の動き②(主なもの)





